

経営基盤強化に向けた取り組み

浄水施設統合事業（2012(平成24)年度完了) 98億円

- ▶老朽化した豊田浄水場を廃止し、堀口浄水場に機能統合
- ▶将来にわたる水道水の安定供給、浄水施設の効率的な運用を推進



浄水場統合に伴い整備した多田野配水池

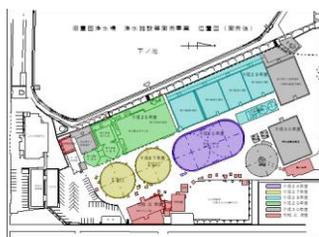
IoTを活用した下水道施設の管理（継続） 1億円

- ▶雨水幹線や樋管等へウェブカメラ・流向計を設置
- ▶マンホールポンプ遠隔監視システムの導入
- ▶ICT・IoTを活用し、管理体制を強化

浄水施設撤去事業（2019(令和元)年度完了) 11億円

下水道管理センター最適化事業（2026(令和6)年度完了予定) 6億円

- ▶旧豊田浄水場や下水道管理センターで、不用施設の撤去を進め、跡地の有効活用を検討
- ▶旧豊田浄水場跡地は、災害時に避難者の駐車スペースとして開放



浄水施設撤去事業 平面図



下水道管理センター

(119台分を確保)

水道施設強靱化事業(工業用水道からの切替)（2021(令和3)年度完了予定) 14億円

- ▶西部第二工業団地(待池台地内)で、配水管網の再整備を実施
- ▶工業用水道事業の廃止に伴い上水道に切り替え、安定給水に向けた取り組み推進

災害に強いライフライン構築への取り組み

郡山市ゲリラ豪雨対策9年プラン（2014(平成26)～2022(令和4)年度) 199億円

- ▶市内5カ所に雨水貯留施設等の整備を推進
- ▶ゲリラ豪雨等短時間集中豪雨による浸水被害を軽減
- ▶内水ハザードマップなどを市内全世帯・事業所に配布
- ▶出前講座などを通し、住民の皆さんとともに防災意識向上を図る取り組み推進

雨水貯留施設名	施設規模	貯留量(m ³)
赤木貯留管	L≒1,300m(φ3,000)	9,160
麓山調整池	断面積1,100m ² ×深さ2m	2,200
図景貯留管	L≒530m(φ4,000)	6,660
小原田貯留管	L≒1,400m(φ4,000)	17,570
石塚貯留管	L≒600m(φ2,400)	2,680
	計	38,270

▲小学校プール(300m換算)約127杯分を貯留



図景貯留管内部



内水ハザードマップを市内全世帯・事業所に配布

古川ポンプ場ポンプ増設事業（2016(平成28)年度完了) 17億円

- ▶平成23年9月の台風15号で水害が発生した区域で、雨水ポンプ場の排水能力強化による浸水軽減対策を実施
- (ポンプ数:排水能力 3基:816m³/分 → 5基:1,360m³/分に強化)



古川ポンプ場

配水幹線更新・配水管網整備事業（継続） 130億円

- ▶耐震化を踏まえた老朽管の更新および配水管網を計画的に整備(震災後10年間の整備延長:61km)
- ▶地震に備え、災害に強いライフラインの構築への取り組み推進



災害に強い水道管の布設